

# やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会  
ふよう病院  
千葉芙蓉病院  
きゅらの樹ケアセンター



芙蓉会社内報

平成30年8月号

芙蓉会

## 理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

8月2日に東京・町田芙蓉会の永年勤続表彰兼懇親会を実施致しました。8日には、千葉・君津芙蓉会の同会を行う予定でしたが、台風の影響により延期となり、9月中には開催する予定です。今年から人事考課を基にした表彰制度の授与式も実施。スタッフのモチベーションアップを期待し、来年以降も継続する意向です。

この夏、子供の夏休みの宿題の手伝う機会がありました。パンフレット作成と新聞作りです。パンフレットの題目は、「富岡製糸場」。世界遺産の説明と各建物の説明書きとイラスト描き。清書の前に文字の大きさと説明書き等のスペースを想定を共に考え、無事完成。新聞作りは、既読した新聞記事を子供と確認し、「働き方改革」について「少子高齢化」「外国人労働者」「障害者雇用」等のキーワードを一緒に抽出しました。小5の息子にとっては難しい題材かと思いましたが、本人なりに現在の社会情勢について理解する事が少しずつ増えているようでした。特に「障害者雇用」については、障害者の中にもスポーツに取り組み、オリンピック（パラリンピック）に出場する方が存在することを認識しており、大人達（一部だと思います）が持っている偏見は全くなく、自分ができない事に挑戦している姿に尊敬の念を抱いているようでした。一緒に取り組んでいる中で少子高齢化について改め



て考えさせられましたが、学校の授業（おそらくホームルーム的な…）の中でも、当然のように話を聞く機会がある様子でした。

労働力人口の減少を食い止めるために、「働き方改革」を推進したい国の意向は、個人的にも理解していますが、様々な弊害があるのも事実です。そのような中で障害者雇用の水増しを各省庁で行っていたとは、論外の話です。

最後に当法人では、個人個人のレベルに合わせた業務の提供をできないかと議論を重ねております。業界で言うところの「無資格者」の方達の採用に現場からの抵抗があった事実もありましたが、その最大の課題は、「教える・育成する時間が無い事。」今後は、育成体制を整備し、雇用環境の充実を目指す所存です。

## 「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会（事業所一覧）



- ・ふよう病院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゅらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション

## ふよう病院 職員表彰式（8月2日）

当法人は、昭和 29 年 8 月 1 日に東京都大田区に芙蓉診療所として開設以来、今年で創立 64 周年を迎えました。毎年創立記念日に合わせて勤続 5 年 10 年 20 年 30 年の職員に対して永年勤続表彰を行っております。今年からそれに加えて勤務成績優秀な職員に対する表彰制度を新たに導入し、初年度は 23 名が受賞しました。永年勤続表彰者 31 名との合計 54 名の表彰式が、平成 30 年 8 月 2 日にベストウェスタンレンブラントホテル東京町田において盛大に開催されました。

暑気払いを兼ねた職員懇親会も同日開催され当日は、最高気温が 37 度の酷暑にもかかわらず総勢 150 名の職員が参加し、職員間の懇親を深めることができました。職員懇親会では、町田事業所勤務者 360 名全員を対象とした抽選会も開催。ペア食事券や旅行券など多数の豪華景品が用意され、当せん番号発表時の会場は、歓喜の声に包まれました。

来年は、創立 65 周年を迎えますので、役職員

一同、心をひとつに新たな気持ちで患者様やご利用者の方々のために業務に邁進して参りたいと思います。



## 院内職員研修会報告「認知症について」

30年7月開催 発表者 佐藤院長

## 内容

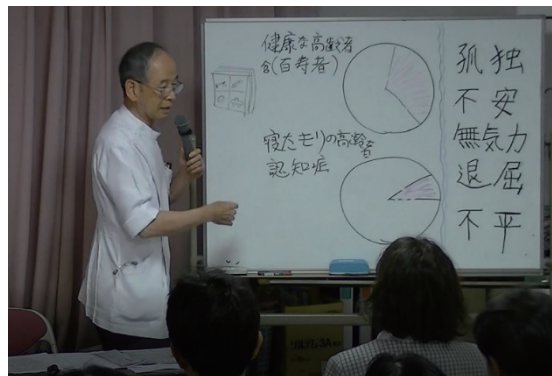
① 朝日新聞の記事より、スウェーデンの社会学者が提唱した新しい高齢者の状態を表す言葉（概念）である「老年的超越」について説明。

「老年的超越」とは、高齢期に高まるとされる「物質主義的、合理的な世界観から宇宙的、超越的世界観への変化」のことで、自分が宇宙という大きな存在につながっていることを認識し、死の恐怖がうすらいだり、他者を重んじる気持ちが高まったりする状態とされる。

この概念によると、超高齢者は一人でいてもさほど孤独を感じず、できることが減っても悔やまないようになり周囲への感謝の気持ちが高まりやすい。成功や達成感を重視する若い頃とは異なる穏やかな幸福感を持つようになり、ベッドでほぼ寝たきりでも「昔を回想するだけで楽しい」という人もいる。たとえ健康を失っても幸せな気持ちを維持することができていると思われるという解釈だ。

② マスコミの報道や学者の発表がいつもネガティブになりがちな「認知症」について、最近の報告の中に「心地良い認知症」というものがあつた。

「認知症」になったことで、それまで厳格だった人格が変わり穏やかになった人が、宗教家が進めるような「受容・自己の開放・今を生きる」



といった、修行をして悟りをひらく境地に達したかのような「心の平穏」を手に入れているというもの。

## まとめ

私達は療養病院の職員として、患者様に対し、孤独感や不安感をお持ちかもしれないと考え「もっと声をかけなければ、もっと何かをしてさしあげなければ」と感じている部分がある。しかし「老年的超越」や「心地よい認知症」の概念からいけば、こういった境地で寝たきりの状態でも幸福感を感じている方もいらっしゃる。我々も十分にはできないことに対するストレスを必要以上に感じて自分を責めるのではなく、別の観点からの患者様へのアプローチも考えることができるのではないかと感じた。

## 院内職員研修会報告「医療安全①

30年8月開催 発表者

## AEDの使い方、熱中症について」

行野診療局部長、日本光電

## 内容

① 当法人でも採用している日本光電製「AED」の使用法について。

「開く・貼る・押す」の、3ステップで簡単に利用できることと、「心臓マッサージが必要です」とアナウンスがあつた場合、機械から出る音のリズムに合わせて2分間行うことが必要になるが、心臓マッサージには思った以上に体力が必要になることと、2分間をかなり長いと感じる人が多いということを、実演を含めて説明いただいた。

② 行野診療局部長より、熱中症について。

熱中症といっても、熱失神、熱けいれん、熱疲労、熱射病といった種類があり、それぞれの症状についてと、熱中症の予防について説明いただいた。また、熱中症とWBGT(暑さ指数)の関係にも触れ、まだまだ暑い日が続くので、注意喚起をされた。





## きゃらの樹ケアセンター イベント報告

### あけぼの保育園との交流会

6月27日 3階フロアにて交流会が行われました。園児たちはみんな手首にお揃いの金色のお星さまを付けフロアに入場。元気よくご挨拶してくれました。早々にリズムの良い曲に合わせて、数曲踊りを披露。園児たちから放たれる眩

しいパワーに利用者様は目を細めながら、一緒にリズムを刻んだり、歌を歌ったりと15分という短い時間ではありましたが、充実した時間を過ごされました。



### 納涼祭

8月18日 4階通所リハビリフロアにて毎年恒例の納涼祭が行われました。今年は台風の影響で風はやや強めでしたが涼しい中での開催となりました。ご利用者は夕食を召し上がりながら、職員と一緒に神輿を担いでいる姿や太鼓を披露してくださるボランティアさんの息の合った演技などを鑑賞されました。また隣席の方との会話も弾んで、手を叩きながら大笑いされて

いる様子などが見られました。終盤では全員参加での盆踊りとなり、大きな踊りの輪ができました。クライマックスは打ち上げ花火。夜空にきれいな花が咲くたびに拍手喝采でした。居室へお帰りになる利用者様より『今年も楽しかったよ。昔を思い出しちゃったよ。来年も参加したいなあ。』とお話しくださり、皆様の夏の思い出の1ページに加えていただけたようでした。



医療法人社団芙蓉会 きゃらの樹ケアセンター



見学随時受付中

〒292-0503 千葉県君津市広岡 375-3

TEL 0439-50-7333 FAX 0439-50-7399



## 千葉芙蓉病院 イベント報告

## 七夕

7月7日を前に、6月末より、廊下に七夕飾りがお目見えしました。  
例年同様、患者様・御家族・面会の方に、短冊に願い事を書いていただきました。よく見ると職員の願い事もありました。  
さまざまな願い事がありますが、皆様、第一はやはり健康。病気の回復や家族の健康を願う短冊が数多かったです。  
願いが空に届きますように。

